

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2020年

1
月号

Vol.67 No.779

巻頭言

年頭所感 篠原健一

会 告

- ▶ 「新春のつどい」のご案内
- ▶ 第91回日暮里塾ワンコインセミナー
- ▶ 2019年度第1回SR推進委員会（公益・災害）研修会
- ▶ 第12回MRI集中講習会
- ▶ 第92回日暮里塾ワンコインセミナー
- ▶ 第18回ウインターセミナー

お知らせ

- ▶ 2019年度第1地区研修会
- ▶ 2019年度第3地区研修会

新春企画

- ▶ 令和2年新春座談会

連 載

- ▶ [消化管造影検査] 第1回 胃X線造影検査技術の基礎から応用
応用技術の概念『胃整形』の提案 第二部 中村 真

研修会等申込書



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp>

謹 賀 新 年

2020年 元旦

本年もよろしくお願ひいたします

理事（総務）	鈴木 雄一	委員長（第五地区）	稻毛 秀一
理事（経理）	関 真一	理事（第六地区）	高橋 克行
理事（庶務）	野口 幸作	委員長（第七地区）	富丸 佳一
理事（涉外）	高野 修彰	委員長（第八地区）	三富 明
会長	篠原 健一	理事（第九地区）	
副会長	白木 尚	理事（編集）	
副会長	石田 秀樹	理事（学術教育）	市川 重司
監事	葛西 一隆	理事（厚生調査）	江田 哲男
監事	野田扇三郎	理事（情報）	安宅 里美
顧問	中澤 靖夫	理事（広報）	長谷川雅一
委員長（第一地区）	増田 祥代	理事（SR推進）	渡辺 靖志
委員長（第二地区）	関谷 薫	理事（第十三地区）	鈴木 晋
理事（第三地区）	平瀬 繁男	理事（第十四地区）	鮎川 幸司
理事（第四地区）	引地 春枝	理事（第十五地区）	原子 満
事務局		理事（第十六地区）	宮谷 勝巳
委員長（第五地区）			

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、 国民及び世界に貢献する 診療放射線技師の育成

2020年
JAN
CONTENTS

目 次

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	4
会告1 「新春のつどい」のご案内	5
会告2 第91回日暮里塾ワンコインセミナー	6
会告3 2019年度第1回SR推進委員会(公益・災害)研修会	7
会告4 第12回MRI集中講習会	8
会告5 第92回日暮里塾ワンコインセミナー	9
会告6 第18回ウインターセミナー	10
会告7 第93回日暮里塾ワンコインセミナー	11
会告8 第68回きめこまかな生涯教育	12
会告9 第94回日暮里塾ワンコインセミナー	13
会告10 第22回メディカルマネジメント研修会	14
会告11 2019年度城南支部研修会	15
会告12 2019年度第2回SR推進委員会(公益・災害)研修会	16
会告13 2019年度多摩支部研修会	17
会告14 2019年度業務拡大に伴う統一講習会	18
お知らせ1 2019年度第1地区研修会	20
お知らせ2 2019年度第3地区研修会	21
お知らせ3 2019年度第5地区研修会	22
お知らせ4 2019年度第8地区研修会	23
お知らせ5 2019年度第12地区研修会	24
お知らせ6 2019年度第6地区meeting	25
新春企画 令和2年新春座談会	26
連載 [消化管造影検査] 第1回 胃X線造影検査技術の基礎から応用	
応用技術の概念『胃整形』の提案 第二部	中村 真 37
こえ	
・第2地区研修会に参加して	島田 諭 41
パイプライン	
・超音波画像研究会 第260回定例会	42
・超音波画像研究会 第28回腹部エコー初心者講習会	42
・超音波画像研究会 第16回ワンバイツー講習会(腹部エコー実技講習会)	43
令和元年度4月～11月期会員動向	44
2019年度第7回理事会報告	45
研修会等申込書	49

Column & Information

・求人情報	19
・東放見聞録	44
・学術講演会・研修会等の開催予定	48

2020年の表紙

今年は本会が創立70周年・法人化40周年を迎える年となり、これを記念して2008年より12年間使用してきた表紙デザインを一新することと致しました。

新デザインの「東京放射線」のもと、これからも会員の皆さまに有益な情報を伝えできるよう務めてまいりますので、ご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

編集委員会

卷頭言



年頭所感

会長 篠原健一

2020年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本会事業の推進につきましてご理解ご協力をいただき深く感謝致します。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年はオリンピック・パラリンピック Year であり、本会にとっては創立70周年を迎える記念の年でもあります。本会では、創立70周年記念式典・記念講演・祝賀会を6月21日(日)に開催すべく石田秀樹実行委員長(副会長)を中心に準備しております。

「診療エックス線技師法」が公布・施行される前年の昭和25(1950)年から70年という月日を重ねてまいりました。職能の原点である125年前のレントゲン博士(Wilhelm Conrad Röntgen)によるエックス線の発見から55年後の昭和25年というのはどのような年であったか調べてみました。

太平洋戦争の終戦から5年。朝鮮戦争始まる。自衛隊の前身である警察予備隊の発足。池田勇人蔵相(当時)による「貧乏人は麦を食え」発言。レッドページ等々の語句が並んでいました。まだまだ、世相が慌ただしく生活も大変な時代、先輩方はしっかりと組織をスタートさせたのでした。

われわれの診療放射線技師法は昭和26(1951)年6月11日に「診療エックス線技師法」として公布され、同年8月10日に施行されました。その後、昭和43(1968)年9月20日に「診療放射線技師及び診療エックス線技師法」に名称改正。診療放射線技師の区分が新設されました。さらに、昭和59(1984)年10月1日には「診療放射線技師法」に名称改正。診療エックス線技師の区分が廃止されて現在に至っています。

事項だけざっくりと並べましたが、この間の先輩諸氏のご努力は並々ならぬものがあり、心から敬意を表します。その後の各種法改正、近年の業務拡大等も、この偉大な礎のおかげであります。

今年の70周年事業も来年の第37回日本診療放射線技師学術大会+アジア・オーストラレーシア放射線技師学術交流大会(AACRT)も、現状の体制で進めていくだけで済ませてはいけない重要な使命を持った事業であると位置付けています。この組織および職能を、次世代型へと育成し引き継いでいく必要があります。

諸先輩が作り上げ発展させ残してくれた職能資格が、国民の安心で安全な医療の一翼を担っていると堂々と報告できるよう、さらに大きく育てしっかり継承しなければなりません。多くの会員の皆さまの“参画”をお願い申し上げます。

昨年の3月11日に医療法施行規則の一部改正(平成31年厚生労働省令21号)が公布され、診療用放射線の安全管理体制について4月1日から施行されます。エックス線装置などを備える全ての病院・診療所で「医療放射線安全管理責任者」の配置が始まります。多くの医療機関で診療放射線技師が任命されることを期待します。

皆さまそれぞれに新たな抱負を持って新年を迎えたことと思います。皆さまにとってよい出来事があり、すばらしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

会 告

1

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：令和2年1月10日（金）19時00分～20時30分
(受付開始18時30分より)

開催場所：「ホテルラングウッド」 2階 凤凰の間
荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次 第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会 費：5,000円

新卒かつ新入会員*の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

2

第91回日暮里塾ワンコインセミナー～入会促進セミナー～ 「～学術教育が選んだ発表演題～」

恒例となりました「学術教育が選んだ発表演題」です。令和元年に発表された演題の中から興味深いものを厳選し、再度発表していただきます。

参加できなかった方、参加していたが聞けなかったという方、再度聞きたい方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

さらに毎年、この演題群の中から学術奨励賞、新人賞を選出しております。ぜひご参加いただき発表演題のアンケートにご協力をお願い致します。

今回は入会促進セミナーということで参加費無料となっております。

～内 容～

- ①散乱線補正処理ソフトにおける画像評価と適正Grid比の検討 武藏野徳洲会病院 八田 吉彦
- ②UTEを使用した3DT1WI撮像条件の検討 東京通信病院 一坂 秀一
- ③乳幼児股関節の性腺防護至適線量の検討～低線量化を目指して～ 公立福生病院 城尾 俊
- ④呼吸同期4D-CTでの低線量化が腫瘍の描出に及ぼす影響 日本大学医学部附属病院 比内 聖紀
- ⑤心臓カテーテル検査における多職種での急変時対応訓練の有用性について 東大和病院 島田 勇佑
- ⑥MRI画像から求めた股関節周囲の筋肉量と骨密度の関係について 昭和大学病院 稲葉 涼真
- ⑦副鼻腔・顔面骨領域における局所被ばく低減機構を用いた低管電圧撮影の検討 東邦大学医療センター大森病院 藤田佳名子
- ⑧脊椎圧迫骨折に対する腰椎単純X線動態撮影の評価 公立昭和病院 吉村 良
- ⑨骨盤部をターゲットとした各種拡散強調画像における歪みの検討 東京医科大学病院 岡本 淳一

記

日 時：令和2年1月23日（木）18時30分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

受 講 料：無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2019年度 第1回SR推進委員会(公益・災害)研修会 テーマ「非常用電源運用時の放射線機器のマネジメント」

災害時には電気・ガス・水道などライフラインの確保が難しくなることが予想されます。ライフラインの確保は、医療機関の機能維持において必須となる項目の一つです。

放射線部門においては、放射線機器を稼働する上で電源確保は重要であり、災害時の被害状況によっては非常用電源による限られた電源容量下での運用が求められます。

昨年度の研修会では、放射線機器の災害対策として地震・水害を想定し、各医療機器メーカー担当者からの情報提供および当委員会委員から自施設の地震・水害対策について報告を行いました。

本年度の研修会では、非常用電源運用時に適した放射線機器のマネジメントについて考えたいと思います。医療機器メーカーからは、撮影条件と電力量の関係について、当委員会委員からは非常用電源下における放射線機器の運用について自施設の状況を報告致します。

各施設で進められている災害対策の一助となれば幸いです。

記

日 時：令和2年1月24日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

4

第12回MRI集中講習会

下記の要領にて第12回MRI集中講習会を開催致します。

各講義では専門試験問題の解説も含めて行い、本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します（参加者には無料配布）。また過去問などの解説も予定しております。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

13:00～14:00 安全管理（専門試験問題含む）

講師：みたかクリニック 渡辺 靖志 氏

14:00～15:00 原理（基礎）（専門試験問題含む）

講師：武蔵野赤十字病院 一志圭太郎 氏

15:15～16:15 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

16:15～17:15 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:30～18:30 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属柏病院 北川 久 氏

記

日 時：令和2年1月26日（日）13時00分～18時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員 3,000円、非会員 10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習【改訂版】を使用（東放技配布）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修5.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第92回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「始業終業点検を考える」

～CT撮影装置編～

始業終業点検は施設によって、規模によって大きく違うと思います。

今回は多くの施設の方より実際の始業終業点検の内容を拝聴し、現場に活かしていただきたいと思います。6施設の現状を報告していただきます。多くのご参加をお待ちしております。

※点検シートも配布予定です。

【報告施設】

慈生会 野村病院	岩崎 智史 氏
東京都済生会中央病院	河内 康志 氏
大和会 東大和病院	高橋 雄大 氏
社会福祉法人 三井記念病院	兼子 幸大 氏
順天堂大学医学部附属順天堂医院	横田 卓也 氏
杏林大学医学部付属病院	中井 健裕 氏

記

日 時：令和2年1月31日（金）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告



第18回ウインターセミナー テーマ「線量管理システム」

2020年4月より線量管理が義務付けとなります。

今回は各施設準備が進む中、線量管理システムについてメーカー側と使用者側からのお話を拝聴したいと思います。

また、休憩時間を利用して簡易的なデモも予定しております。

多くのご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00~15:15	コニカミノルタジャパン株式会社 -FINO.X Manage-	元木 悠太 氏
15:15~15:30	株式会社アゼモトメディカル -AMDS-	若林 俊輔 氏
15:30~15:45	GEヘルスケアジャパン株式会社 -Dose Watch-	坂庭 健一 氏
15:45~16:00	株式会社NOBORI -MINCADI-	株式会社A-Line 北中 康友 氏
16:00~16:45	休憩 & 機器展示	
16:45~17:15	施設使用報告1	大阪急性期・総合医療センター 西田 崇 氏
17:15~17:45	施設使用報告2	国立がん研究センター中央病院 鳥居 純 氏

記

日 時：令和2年2月1日（土）15時00分～17時45分

会 場：東邦大学医療センター大橋病院 1階 臨床講堂

ア クセス：JR渋谷駅西口より 東急バス「渋21」上町駅行き「大橋」バス停下車より 徒歩約6分

東京急行田園都市線 渋谷駅から1つ目「池尻大橋」駅北口下車より 徒歩約3分

京王井の頭線 渋谷駅から2つ目「駒場東大前」駅下車より 徒歩約10分

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第93回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「有意差検定？ 統計検定？ 違いはなに？ 明日からできる統計解析」

講師：群馬パース大学 今尾 仁 氏

以下のような場合で迷ったことはありませんか？

<一例（実際の講義内容とは、若干異なります）>

1. 乳腺装置Aと乳腺装置Bの検査効率（スループット）に差（有意差）があるか否か
(各20検査を行い、検査時間で比較)
2. 診療放射線技師5名の再撮影に関して、教育の前後で再撮影率の変化を調べる
3. 5枚の胸部画像について視覚評価を行った際、画像間で違いを調べる
(管電圧を変化させて5枚の胸部画像について視覚評価を実施)

今回は実例を挙げて、進めていきたいと思います。

学会データのまとめ方なども含め、実用的な内容となっております。

時間的に余裕を持って企画しておりますので、個人的な質問にも広く対応できるかと思います。多くのご参加をお待ちしております。

※参加する方はPC持参の上、ExcelにてEZR (www.jichi.ac.jp/saitama-sct/SaitamaHP.files/statmed.html) が使用できる状態でお越しください。

記

日 時：令和2年2月15日（土）15時00分～18時00分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：30名（先着順）

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

8

第68回きめこまかな生涯教育

テーマ「CT基礎を理解する(初級者向け)…次のステップに行く前に…」

今回はCTの基礎を特集します。CT装置・検査内容は日々進歩していますが、基礎となる部分を理解しておくことは重要と考えます。CT装置に精通した講師をお招きし、分かりやすく解いていただきたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

14:30～15:30 「CT装置の基礎」

- ・原理および画質まで

講師：北里大学北里研究所病院 小林 隆幸 氏

15:40～16:40 「CT装置の線量管理」

- ・線量測定およびDRL

講師：東京慈恵会医科大学附属病院 庄司 友和 氏

16:50～17:50 「CT検査の実践」

- ・造影技術および臨床画像解説

講師：順天堂大学医学部附属順天堂医院 横田 卓也 氏

記

日 時：令和2年2月22日（土）14時30分～17時50分（受付開始14時00分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円（当日徴収）

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第94回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「一般撮影条件の設定について～胸部・腹部編～」

一般撮影における撮影条件は、似て非なるところがあります。

今回は、3名の方にお越しいただき、撮影条件について、設定の理由（管電圧、距離、グリッド、サイズ）、運用状況、問題点などを拝聴して、自施設への参考にしていただきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

1. 東京女子医科大学病院
2. 聖マリアンナ医科大学病院
3. 東海大学医学部付属八王子病院

森田 康介 氏
田沼 隆夫 氏
由地良太郎 氏

記

日 時：令和2年2月26日（水）19時00分～20時30分

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟 4階第2講堂

東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セ ス：JR新宿駅 西口下車 徒歩約15分

都営大江戸線 都庁前駅下車 徒歩約7分

東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅下車 徒歩約1分

受 講 料：会員 500円、非会員 3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

10

第22回メディカルマネジメント研修会

テーマ「風化させないために…あの時、我々は…

『東海村JCO臨界事故』『福島第一原子力発電所事故』

1999年（平成11年）9月30日に発生した東海村JCO臨界事故、および2011年（平成23年）3月11日の東北地方太平洋沖地震の影響により、福島第一原子力発電所で発生した原子力事故については忘れてはいけない出来事であります。風化させないために、今一度、何が起きて、どのような行動をしたか、振り返りたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

第1部 19:00～	東京都診療放射線技師会活動記録 東京都診療放射線技師会SR推進委員会	渡辺 靖志
第2部 19:10～	東海村JCO臨界事故 国立がん研究センター中央病院	麻生 智彦
第3部 19:40～	福島第一原子力発電所事故 国立病院機構 東埼玉病院	武田 聰司

記

日 時：令和2年3月4日（水）19時00分～20時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円（当日徴収）

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

2019年度 城南支部研修会

テーマ「Ai（死亡時画像診断）の現状と今後の展望」

講師：国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 横口 清孝 氏
 Ai情報センター 山本 正二 氏

“Ai”という言葉を聞くと最近は「人工知能」を思い浮かべる方が多いことでしょう。2011年にドラマでAutopsy Imagingが取り上げられて、話題となった当時は診療放射線技師の間では“Ai”と言えば「死亡時画像診断」でした。あれから約9年… 私たちを取り巻く環境は日々刻々と変化し、Artificial intelligenceがブームとなり「人工知能」のAiの存在によって「死亡時画像診断」が希薄の傾向にあります。しかし、Autopsy Imagingも独自の進化を遂げており、多くの方々の努力により当時の問題点などが改善され、「死亡時画像診断」を取り巻く環境も大きく変化しています。

今回はその進歩の具体的な解説を経験豊富な講師をお招きし、撮影の適正な条件から最近の症例まで技師目線と読影医目線からご講演いただきます。

進化したAutopsy Imagingの現状をお楽しみください。

記

日 時：令和2年3月6日（金）19時00分～20時40分（受付開始18時30分～）

場 所：高津市民会館 大会議室

川崎市高津区溝口1-4-1 ノクティ2 12階 大会議室

ア クセス：東急田園都市線 溝の口駅より 徒歩約4分

JR南武線 武蔵溝ノ口駅より 徒歩約3分

受 講 料：診療放射線技師 1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城南支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：城南支部委員会

E-mail : shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長（城南支部委員長）

原子 満

第11地区委員長

千葉利昭

第4地区委員長

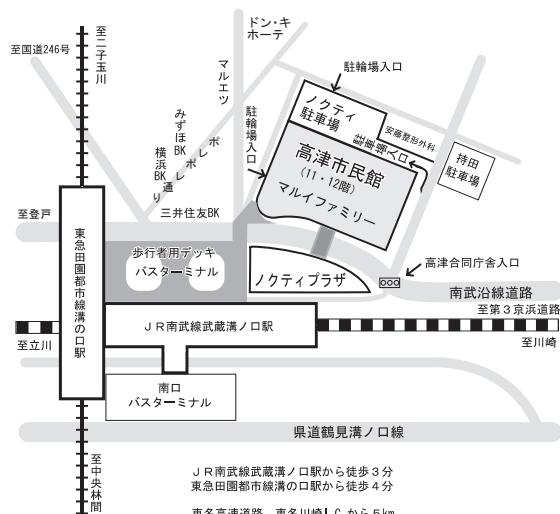
目黒一浩

第8地区委員長

三富 明

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

TEL・FAX : 03-3806-7724



以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告 12

2019年度 第2回SR推進委員会(公益・災害)研修会 テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させない～」

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。政府は、2020年に向けた取組事項を公表しており、そのひとつとして「テロ対策・NBC災害対応力強化」を挙げ、対応策をとりまとめています。われわれも緊急被ばく医療（原子力災害時医療）に対する対応を十分に考慮しておく必要があると考えています。

本年度は放射能汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキル、主に施設養生について再確認を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

時 間	タ イ プ	講 師
13:00～13:10	開会の辞	SR推進委員会委員
13:10～14:00	緊急被ばく医療について	
14:00～14:30	施設養生（講義）	
14:30～16:00	院内ゾーニング・施設養生（実習）	
16:00～16:20	質疑応答	
16:20～16:30	閉会の辞	

記

- 日 時：令和2年3月8日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：50名（先着順）
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）
申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与
問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2019年度 多摩支部研修会

テーマ「明日から使える一般撮影の画像処理」

講師：富士フィルムメディカル（株） 相馬麻依奈 氏
コニカミノルタジャパン（株） 元木 悠太 氏

今回の多摩支部研修会のテーマは「一般撮影の画像処理」です。画像処理のメカニズムを含め、実際にパラメータを調整すると何がどう変化するの？ もっとこの部位を見やすくするにはどうすれば良いの？ といった疑問を解決できるようご講演いただきます。

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：令和2年3月13日（金）19時00分～20時15分（受付開始18時30分～）

場 所：国分寺労政会館 4階第4会議室（予定）

ア クセス：JR中央線 国分寺駅 南口下車 徒歩5分

受 講 料：診療放射線技師 1,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“多摩支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

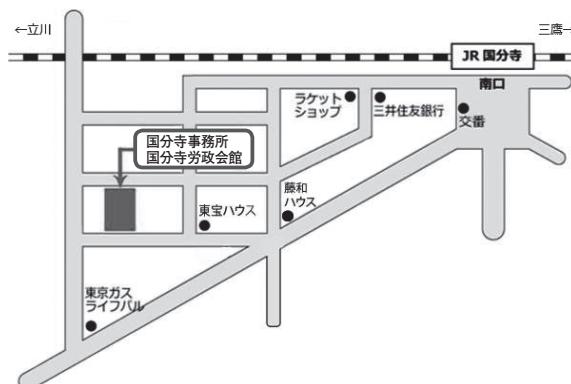
問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

第13地区委員長（多摩支部長） 鮎川幸司

第12地区委員長代理 小野賢太

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告 14

2019年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。

都道府県技師会にて実施される統一講習会は本年度が最終年度になります。多数の参加をお願い致します。

記

受 講 料：会員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

【第5回】

日 時：令和2年1月18日（土）9時10分～18時20分（受付開始9時00分～）

令和2年1月19日（日）9時10分～17時00分

*当初の日程から変更になりました。

場 所：三鷹産業プラザ 会議室

東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ

ア ク セ ス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩約8分

募 集 人 数：70名

【第6回】

日 時：令和2年2月29日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）

令和2年3月 1日（日）8時30分～17時30分

場 所：JR東京総合病院

東京都渋谷区代々木2-1-3

ア クセス：JR新宿駅 南口・甲州街道改札・新南改札より 徒歩約5分

JR代々木駅 北口より 徒歩約5分

都営大江戸線新宿駅 A1出口より 徒歩約1分

小田急線南新宿駅より 徒歩約5分

募 集 人 数：70名

注）本年度最後の開催のため申し込みが多くなることが予想されますので、受け入れ体制を整えるために当初の会場から変更しております。

以上

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。

勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせてお仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ~ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail:info@jmb88.co.jp URL: http://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可:派13-301371 有料職業紹介事業許可:13-ユ-130023

お知らせ

1

2019年度 第1地区研修会

テーマ「当施設における肺がんCT検診と技師の役割」

講 師：東京都予防医学協会 池田 悠 氏

今回、「肺がんCT検診と技師の役割」というテーマで東京都予防医学協会 池田悠氏に肺がんCT検診の現状や実際、最新情報などをお話ししていただきます。

第1地区は検診・健診センター、クリニック、診療所などの単科の施設が多数あり、最新技術や情報の入手、また、検査方法をどのように進めていけばよいのか？など、疑問を抱えていらっしゃる方が多いのではないでしょうか。この機会にぜひ第1地区研修会に参加していただき、疑問を解消してみませんか？

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：令和2年2月3日（月）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

定 員：60名

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第1地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第1地区委員長 増田祥代 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

2019年度 第3地区研修会 ティーチングファイル —ここがポイント— テーマ「線量管理 被ばく線量管理に向けて」 講 師：聖路加国際病院 須山 貴之 氏

医療法施行規則の一部を改正する省令（以下「改正省令」）が2019年3月11日に交付され、診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定は2020年4月1日に施行されることとなった。

この中でエックス線装置を備えている病院または診療所の管理者は、①診療用放射線に係る安全管理のための責任者、②診療用放射線の安全利用のための指針、③放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全利用のための研修、④放射線診療を受ける者の当該放射線による被ばく線量の管理及び記録その他の診療用放射線の安全利用を目的とした改善のための方策を行うことと示されている。

今回は④について詳しく勉強をしながら、①②③について何を準備すればよいかを皆さんと一緒に勉強をしたいと思います。ご参加をお待ちしています。

記

日 時：令和2年2月7日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟 4階第2講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア クセス：東京メトロ丸ノ内線西新宿駅より 徒歩約1分

JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第3地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

もしくは件名『第3地区研修会』として、下記メールアドレスまで送信お願いします。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男 E-Mail：area03@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

3

2019年度 第5地区研修会

テーマ「夜勤・当直帯で役立つ“Radiation How to”
～大事な所見を見逃さないために～」

講 師：一般撮影・ポータブル編：日本医科大学付属病院 蟹谷 庄平
C T 編：順天堂大学医学部附属順天堂医院 工藤 晃
M R I 編：東京大学医学部附属病院 上山 翔

本年度も毎年好評をいただいている第5地区研修会を開催致します。この研修会は、演者と皆さまが活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回のテーマは「夜勤・当直帯で役立つ“Radiation How to”～大事な所見を見逃さないために～」です。夜勤業務をする上で知っておくべき画像所見や、知っておくと役に立つ撮影技術について一般撮影・ポータブル、CT、MRIそれぞれのモダリティに分けて学んでまいりたいと思います。2018年度の第5地区研修会において行った参加者アンケートで若手技師よりリクエストが多かった内容を採り上げました。夜勤業務に入ったばかりの若手の方から、基本を再確認したいベテランの方までたくさんの方々のご参加をお待ちしております。

また、研修会後は情報交換会を予定しております。ご参加いただいた皆さまの交流をさらに深めて地域医療の発展に繋げていただければ幸いです。

記

日 時：令和2年2月14日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第5地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加可能ですが、会場のスペースの関係で事前登録者を優先させていただく場合がございます。できる限り「事前申し込み」をお願い致します。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

4

2019年度 第8地区研修会

テーマ「重症頸髄損傷に対する自家骨髓間葉系幹細胞移植療法について」

講 師：東京労災病院 リハビリテーション科副部長・再生医療センター長 浪岡 隆洋 先生

昨年5月より保険適用になった再生医療による脊髄損傷の治療についてご存知でしょうか？

これまで脊髄損傷には有効な治療法はありませんでした。不慮の事故などで重い後遺症を抱えた患者は、生涯車いすや寝たきりの生活が続くのが常でした。そんな脊髄損傷治療に患者自身の細胞を使った世界初の画期的な再生医療が条件付きではありますが保険適用になりました。

今回の研修会では、最新の脊髄損傷治療法についてご紹介したいと思います。

会員・非会員問わずお誘い合わせの上、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：令和2年2月21日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大森病院 5号館地下1階 臨床講堂

〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1

ア クセス：JR蒲田駅 東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車すぐ

JR大森駅 東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車すぐ

京浜急行 梅屋敷駅 徒歩7分（各駅停車にご乗車ください）

受 講 料：診療放射線技師 500円

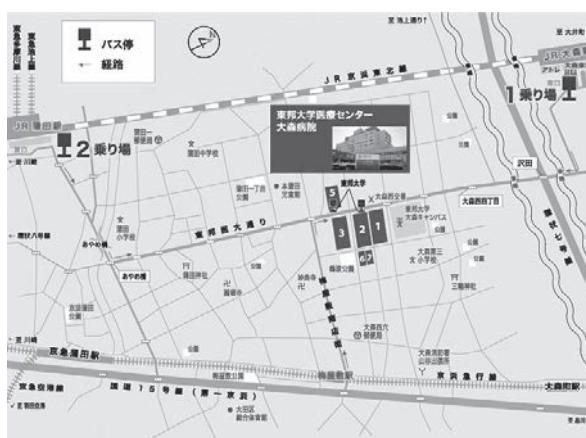
新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第8地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第8地区委員長 三富 明 E-Mail : area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

5

2019年度 第12地区研修会

テーマ「今さら聞けない撮影技術～外傷と骨撮影を中心に～」

講 師：杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科 助教 森 美加 先生

今回のテーマは一般撮影領域の中の外傷と骨撮影について講義していただきます。

外傷とひと口で言ってもさまざまな受傷機転が存在し、症状や骨折の分類などによって撮影方法や撮影順序の組み立てなど、われわれの頭を悩ますことが多いと思います。

今回は受傷機転や解剖学も踏まえた撮影テクニックや病態の把握など、基礎から応用まで今すぐ使える技術を最近の某医療ドラマにツッコミを入れながら分かりやすく教えていただきます。

新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：令和2年2月28日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東大和病院 本院 7階 会議室（受付場所：本院 7階 会議室前）

ア クセス：西武拝島線 東大和市駅下車より 徒歩約12分

西武バス「東大和病院前」下車

受 講 料：診療放射線技師 500円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第12地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長代理 小野賢太 E-Mail：areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

6

2019年度 第6地区meeting

テーマ「CTとMRIの基礎とコツ～限られた環境での撮像を考える～」

講 師：「CTの基礎とコツ～限られた環境での撮像～」
「MRIの基礎とシーケンスの工夫～限られた環境での撮像～」
「活動報告」
博慈会記念総合病院 伊佐 理嘉
かねなか脳神経外科 片岡 剛
中央医療技術専門学校 学 生

皆さん、設備や環境でなかなか思ったような検査ができないなと思うことはありませんか？
研修会で見てきたものがうちの装置では……。“うちはしょうがないよ”とあきらめてはいませんか？

“ちょっと待ってっ!! もう一度考えてみましょう！”

本年度も“小規模施設の若手・学生”をメインとした研修会を開催します。なかなか教わる機会がなく、ちょっと不安に思っている方、検査数が少なくてコツがつかめず再度勉強し直したい方など、ぜひ一度お越しください。何かつかんで帰路に着ける会にできるように頑張ります“一緒に学びましょう”。

委員一同お待ちしております。

記

日 時：令和2年3月7日（土）16時00分～18時30分（受付開始15時30分～）

場 所：中央医療技術専門学校 4号館3階教室

〒124-0012 東京都葛飾区立石3-5-12

ア クセス：京成押上線 京成立石駅より 徒歩約7分（各駅停車をご利用ください）

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第6地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も可能です。

問い合わせ：第6地区委員長 高橋克行 E-Mail : area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

令和2年 新春 座談会



篠原健一

東京都診療放射線技師会会长・
日本診療放射線技師会理事・
日本診療放射線技師連盟副理事長

中澤靖夫

日本診療放射線技師会会长・
日本診療放射線技師連盟理事長・
東京都診療放射線技師会顧問

畦元将吾

衆議院議員・
日本診療放射線技師連盟副理事長・
東京都診療放射線技師会会长

1. はじめに

篠原会長：皆さま、明けましておめでとうござい
ます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

一同：おめでとうございます。よろしくお願ひし
ます。

篠原会長：本日は会場を日本診療放射線技師会さ
んにお借りしまして座談会を進めたいと思いま
す。どうぞよろしくお願ひします。

一同：よろしくお願ひします。

2. 診療放射線技師として 初の国会議員誕生（就任）について

篠原会長：まずは、診療放射線技師として初の国
会議員が誕生したということで、大変おめでと
うございます。

畦元議員：ありがとうございます。

篠原会長：これにつきまして、まず、衆議院議員
に就任されました畦元将吾議員から一言頂きた
いと思います。よろしくお願ひします。

畦元議員：明けましておめでとうございます。昨
年の7月11日に、おかげさまで、中国ブロック
比例代表として当選させていただきました畦元



将吾です。

私が議員に当選できたのも、日本診療放射線技師会はもちろんのこと、東京都診療放射線技師会の技師の先生方にも大きなご支援とご協力を頂いた結果であるということに、とても感謝しています。

令和で最初の国会議員ということで、できる限り令和にふさわしいような政治ができるよう頑張っていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

篠原会長：よろしくお願いします。

畠元議員は、もちろん国会議員として国のために働いていかれますが、東京都診療放射線技師会の会員であり、日本診療放射線技師連盟の副理事長でもいらっしゃいます。診療放射線技師としては初の国会議員になられたということで、日本診療放射線技師会 中澤会長からこの件につきまして、コメントをお願いします。

中澤会長：日本診療放射線技師会が創立されたのが昭和22年7月13日です。そこから歴史をたどり、72年をかけて診療放射線技師の中から政治家が生まれたということは、本会にとっても、東京都にとっても、大きな歴史であると思います。

畠元さんが最初に挑戦されたのが平成25（2013）年の第23回参議院選挙であります、その後、第24回参議院選挙、第48回衆議院選挙と3度の国政選挙に挑戦されてきましたが、残念ながら落選、あるいは次点という結果でした。そして第25回参議院選挙で、自民党の三浦靖衆議院議員（比例圧勝）が参議院選挙比例区に立候補して自動失職したことに伴いついに繰り上げ当選という結果を掴むことができま



した。昨年7月11日に総務省に行かれ当選証書を受け取り、国会で議員としての登録をされ、衆議院議員バッジを付けられたということです。本人にとっても大変名誉なことであります。それ以上に日本診療放射線技師会、そして東京都を含む47都道府県の診療放射線技師会にとっても大変名誉なことであると思っています。今後、畠元議員を支えていくために、47都道府県で力を合わせていきたいと思っています。

3. 技師会が抱える課題・政策について

篠原会長：ありがとうございます。先ほども申し上げましたように、国会議員として国のためにお仕事をしていただくのですが、診療放射線技師でもある畠元議員には、技師会が抱えるいろいろな課題の解決のために、政策の面からもぜひお力を発揮していただきたいと思っています。

例えば、抜本的な技師法改正、そして近々の話題ですと働き方改革におけるタスク・シフティング等への対応がありますが、これらの課題についてのお考えや抱負をお聞かせ頂けますでしょうか。

中澤会長：昨年の9月5日に、畠元議員と一緒に、当時の根本匠厚生労働大臣に対して、日本診療放射線技師会の令和2年の政策、予算要望をお伝えしてきました。その中には、先ほど篠原会長がおっしゃったように、タスク・シフティングに関するもの、あるいは診療放射線技師法の改正に関するものもありましたが、一番は現在進行中の非常に大きな事業である医療放射線の安全管理の推進についてです。それに関する政策を実現し、日本全国の8,400の病院、あるいは10万のクリニックに対して放射線の安全管理を周知徹底していくために、何とか予算を付けていただきたいということをお話ししてまいりました。

これは本会だけでは難しいので、日本医学放射線学会、あるいは日本医師会とも連携しながら進めていきたいと思っています。

篠原会長：ありがとうございます。これに関しまして畠元議員のほうから、現在国会で担当されている役割やお立場も含めてお話をお願いします。

畠元議員：私の仕事についてですが、診療放射線技師の代表ということもありましたので、入った当初は環境委員だけでした。しかし、当然のことながら厚生労働にも注力したいと希望しましたので、昨年10月からいろいろな役や会が加わったのです。技師の先生方はあまりご存じない方もおられるかもしれませんので、少しご説明させていただきます。

まず各党の中には部会というものがあります。われわれに関係するところですと厚生労働部会はもちろん、意外に思われるかもしれませんが、経済産業省に関する部会も関係があります。法律を決めるときには、そういった部会でまず話し合いをします。そこで話し合った結果を次に衆議院の厚生労働委員会へ持っていきます。そこでは自民党だけではなく、いろいろな方がいらっしゃるのですが、まずは自民党の部会で話し合っていなければ絶対にそこに上げられません。それで私は厚生労働部会に入らせてほしいと要望しました。技師会についての提案をするにしても、部会で話し合っていなければ委員会に持つていけないです。

現在私が入っているのは国会対策委員会です。他には経済産業委員会、環境委員会。それから、消費税の問題が昨年ありましたけれども、消費者問題特別委員会。これら衆議院の委員会に入っています。部会のほうは厚生労働部会の副部会長というかたちです。もう一つは組織運動本部、厚生関係団体委員会副委員長。これは

われわれの仕事に結構直結したところだと思っています。

最近、厚生労働部会では医師のタスク・シフティングの問題があり、そこにどう診療放射線技師が入り込むかという課題があります。これはここでも話し合っていますし、現在は人生100年時代戦略本部でも取り組んでいます。社会保障制度の調査会の中には、かなりいろいろな医療関係の方が来られています。介護委員会などもありますし、人生100年時代になるからということで、医療の問題としてはいろいろあるのですが、その中にわれわれ診療放射線技師がどう入っていくか考えていく必要があります。

医師のタスク・シフティングについては昨年10月に話し合った内容にあります、「タスク・シフティングを行うためには、今の業務体系をそのまま看護師、または診療放射線技師にスライドしてもあまり解決しないのではないか。むしろ仕事の内容を見直すべきではないか。それによって看護師、診療放射線技師、その他の医療職種に分けていくという方向を考えたほうがいい。ただ今あるものをそのまま持つていっては駄目ではないか」と仰っていたと医師会の先生方の話によく出てきました。ですから、われわれから医師会の先生方に、こうすることはできるのではないか、などと逆に提案をしていくことで、もっとできることがあれば増やしていくといいのではないかということは感じています。

中澤会長：タスク・シフティングの話では、畠元議員が指摘された医療の中における業務だけではなく、医療を外れた他の機関、介護施設、福祉施設でも診療放射線技師が超音波装置とポータブルエックス線装置を持って医療行為に当たるというようなことも、今回新たに提案しています。さらに新たな業務としては、前回のチーム医療推進会議で議論になったのですが取り上げていただかなかった、放射線部の中における静脈注射、抜針・止血だけではなく、静脈注射をした後、造影剤の副作用を確認して造影剤を注入後、今度は抜針・止血をする、さらに遅延効果の副作用も確認するという一連の行為です。その中で静脈注射についても新たな診療補



助行為として提案しているというところが、今までの診療放射線技師の像からガラッと変わったところです。静脈注射もできる、医療機関だけではなく介護施設や福祉施設でも放射線のエックス線写真を撮ることができる、あるいは超音波エコーによる静脈血栓等も検査ができるというようなことを、新たにタスク・シフティングで提案しているところです。

もう一つは、これは厚生労働省が各団体に求めたことですが、海外の事例も紹介して欲しいという要望がありましたので、イギリスにおける Radiographer Practitioner、あるいはアメリカにおける Radiology Practitioner Assistantについてもご紹介しています。われわれは、政策的にプラクティショナーという単語は出していませんけれども、一歩踏み込んだ診療放射線技師の業務、行為を大学院の修士課程で教えていくべきではないかということを提案させてもらっているところが新しい部分かと思います。

篠原会長：今ある枠組みの中でタスク・シフティングをするのではなくて、新たな領域を作ることから進めていくという……。

中澤会長：進めていきたいということです。

4. 新年（新年度）における優先課題 5. 首都東京・東京都診療放射線技師会としての役割について

篠原会長：大変画期的で、大きな意味合いを持っていると思いますが、やはり一職能団体だけではできることも限られます。政治的な部分、それから行政を動かす力というのも大事になってくると思います。

さまざまな課題があって優劣付けがたい部分もあるとは思うのですが、差し当たって、新年度における優先課題的なもの、あるいは一番実現へと近づいているもの、近づけなければならないものは何でしょうか。また、首都東京にあるわれわれ東京都診療放射線技師会と日本診療



放射線技師会とが綿密に協力して事業を進め、協力体制を築いていくことが求められていると思うのですが、それについて東京都診療放射線技師会に対して期待することなどがあれば、併せてお話しいただければと思います。

例えば、私のほうから申し上げますと、今年2020年は世間にとては東京オリンピック・パラリンピックが開催される年ですが、われわれにとっては創立70周年を迎える年であり、記念式典を準備しており、組織として大きなイベントのある年といえます。さらに少し先になりますが、来年2021年には第37回日本診療放射線技師学術大会およびAACRT アジア・オーストラレーシア放射線技師学術交流大会の東京開催が控えており、この準備の要になる年だととも考えています。これらについても、ぜひ日本診療放射線技師会と一致協力をしながら進めていきたいと考えています。

中澤会長：まず東京都診療放射線技師会70周年、誠におめでとうございます。今年はオリンピック・パラリンピックの年でもありますし、天皇家の歴史では2680年となる令和2年の年もあります。東京都と天皇家のお祝いが少しリンクしてくるということで、大変うれしく思っています。

日本診療放射線技師会としての令和2年の大きな事業の目標としては、やはり1つ目は昨年法律で勝ち取った医療放射線の安全管理についてです。4月1日から義務化されますので、全国の会員に向けた医療放射線安全管理責任者講習会を開催し、皆さんをサポートしていくこと。

そして全国的な展開になりますので、日本医師会、都道府県医師会との連携も必要になります。それについても併せて推進していきたいと思います。

2つ目は、昨年7月17日に厚生労働省で報告しましたタスク・シフティングについて。畠元議員とも連携しておりますが、新たな業務としての静脈注射に関して、やはりこれは何とか法律改正を勝ち取って、新たな業務の展開を進めていきたいと思っております。

それからもう一つの展開は、先ほどもお話ししましたように、医療機関だけではなく、介護施設、福祉施設でも診療放射線技師の仕事ができる、そういう体系に法改正していただきたいといけないと考えています。

最後に3つ目は、昨年3月末に医師の働き方改革を進める検討会のまとめができ、2024年4月以降、医師の残業を960時間以内、あるいは1,860時間以内に収めるということが答申されましたので、われわれも協力しながら進めていきたいと考えています。そのためには、診療放射線技師の働き方改革も非常に重要になります。本会の調査によると診療放射線技師は交代勤務が13%、呼び出し体制が41%、宿直体制が41%となっています。この宿直体制の実態を調べると、CTが10件、あるいはMRIが数件など、実際の業務に当たっていることが分かりました。そのため、そこを全て時間外手当で支給する、または交代勤務に変えていただけるよう、平成29年7月3日に厚生労働省の労働基準局長宛てに、資料に基づいてお願いしております。

今年は医師の働き方改革とともに、診療放射線技師の働き方改革も連携して実現へと進めていきたい。この3つを大きな中心に持っていくたいと思っています。

篠原会長：ありがとうございます。では、畠元議員お願いします。

畠元議員：今、中澤会長がおっしゃった通り、医師との十分な連携が必要です。私が議員になったことによって、医師会とのつながりも深くできるのではと思っていますので、連携しやすい環境づくりをバックアップしていこうと思います。それが法律改正に近づくことではないかと思います。

あとは、いろいろな委員会に出て、私もたくさん勉強している最中ですので、決まったことで、話していいことは中澤会長に隨時ご連絡をしながら、できる限り国民の健康のため、患者さんのため、正しい医療ができる方向に持っていくよう頑張っていきたいと思っています。

中澤会長：また、畠元議員は、「21世紀の医療・介護・福祉を支える会」でも推薦させていただいた衆議院議員であります。畠元議員には、日本歯科技工士会の政策要望、それに日本臨床工学校士会の政策要望、日本救急救命士協会の政策要望も含めて、筆頭になってぜひ政策実現に向けて取り組んでいっていただければと思います。

畠元議員：厚労部会のほうではできるだけ意見したいと思います。

1つ、気になるトピックスがあるのですが、最近、部会や委員会でよく聞く話で「歯科技工



士」が患者さんに触れてはいけないというものがあります。「なぜ技工士が、医療スタッフの中で患者さんに触れてはいけないのか」。これについての疑問は割合に声が上がっています。ですので、これをきっかけに診療放射線技師についての話し合いもどんどん進めていこうとしています。

中澤会長：歯科技工士さんが歯を作るときに、中を見たり少し触るということは非常に重要なことのように思えますけれども、禁じられているのですね。

畠元議員：そうです。それが日本歯科医師会の先生から「なぜいけないのだろうか」と疑問提起されてくるようになりましたから、世の中少し変わってきたのだなと感じています。

6. 未来のあるべき診療放射線技師像について

篠原会長：いろいろな職能団体でもやはり同じように、タスク・シフティングをしなければいけないという問題を抱えているのではないかと思います。先ほど中澤会長と畠元議員からも、抱えているさまざまな課題等について、いろいろとお話をいただきました。未来のあるべき診療放射線技師については、今までお話ししていただいたような話題もあるかと思います。そもそも診療放射線技師は、昭和43年にエックス線技師から診療放射線技師の領域が加えられて、昭和59年に現状の診療放射線技師法に一本化したわけですが、その時代から比べると、現在われわれが領域としている業務範囲は、これから増やそうという部分も含めてかなり様変わりし、広範囲になってきています。技師の養成教育のカリキュラム等がまだまだ足りない、教育年数が足りないという現実問題がありますが、これについては現在、日本診療放射線技師会が取り組んでいることと思います。例えば、最低でも四年制教育にし、場合によっては六年制教育していくという将来像、カリキュラムの単位数を増やすことについて、具体的にどのような取り組みまで進んでいて、どのような問題点があるのか。それについて何かわれわれ診



療放射線技師一人一人が考えていかなければならぬ、取り組んでいかなければならぬ課題がありましたら、ご意見を頂ければと思います。

中澤会長：昭和43年に二年制教育から三年制教育に変わって、法律も診療放射線技師法と診療エックス線技師法の二本立てになりました。そのときの背景としては、診療エックス線技師法の中ではコバルト治療を含む放射線治療はできない、あるいはラジオアイソotopeの検査はできないというのが厚生労働省の見解でありましたので、それなら1年間増やして二年制教育から三年制教育にしようとなったのです。

昭和43年に新たに三年制教育が始まった直後の昭和48年から、新たにエックス線CTが出てきますし、MRI、あるいはPET/CT、SPECT/CTが出てきたり、RI内用療法が出てきたり、循環器でもIVR治療が出てきたり、あるいは無散瞳眼底カメラやエコーが出てきました。昭和43年から比べると、三年制教育にした内容よりも倍近くに業務範囲が広がり、業務内容も著しい進化を遂げてきました。そのため私どもは、教育制度の検討会を作つて検討し、その結果やはり今の三年制では足りない、四年制にすべきだという結論に達しました。さらには四年制でも足りないので、プラス2年して六年制にすること、大学卒を基本にして、さらに修士課程の教育二年制を加えていくべきではないかという考え方が大きな柱になりました。ただ勉強を増やすのではなく、どんどん入ってくるCT、MRI、放射線治療を、実際に新たな業務として扱えるようになることが目的です。診療放射線技師の学歴を調査すると、71%が大学卒で、専門学校は29%しかありませんので、



何とか法律を改正して四年制の大学教育を基本に据えていきたいと思っています。

さらにそれにプラス二年教育で、先ほど言ったような診療放射線技師プラクティショナーという上級技師の制度を作っていくかは今後の検討の課題であります。何よりも業務に対応した教育制度の在り方、国民医療を推進するための教育制度の在り方を検討していくかなくてはいけません。そのためにも畠元議員には医療業界の代表として、教育制度も含めて、われわれ診療放射線技師のみならず、医療スタッフの教育はどうあるべきということを国政の中でご提案していただければと思っています。

畠元議員：先に少し話したことにも関係するのですが、業務の中身ですね。医師のタスク・シフティングに関して、仕事の内容の中には、例えば医者がしなくともいい仕事もありますよね。機械でできることもあるのではないか、などといったところを整理する。逆に絶対に医師でなければいけないところは医師に任せ、そうではないところをどう分担するのかを明確にしていかなければならないということは私も感じています。

そのために必要な教育は診療放射線技師にあるでしょうし、この間はいろいろな臨床工学技士さんからも二年制を三年制にしたいという話も出てきていました。歯科技工士さんも言っていますが、そういったやるべきことのための教育はとても大事だと考えています。中澤会長からも特に診療放射線技師を四年制に、という話は聞いていますし、先日中央医療技術専門学校の式典に行ったときにも、理事長から「本当は四年制教育にしたい。できるだけ協力してほ

しい」とも言われました。誰も反対している人がいないことははっきりしていますので、四年制は必要であると思います。四年制でないとカリキュラムがきちんと終わらないということも分かっていますので、今年はその辺りのことを、中澤会長と足並みをそろえながら一緒に準備をしていく年だと私は思っています。

篠原会長：私が診療放射線技師を目指すずっと前のことなので、先輩から聞いた話ですが、先ほどの昭和43年に診療エックス線技師法から診療放射線技師及び診療エックス線技師法に法改正されたというお話をについて。それは診療放射線技師という、「放射線」の領域をプラスアルファした法律で、後に一本化しましたが、その当時は診療放射線技師1種、2種でいいのではないかという話が出ていたそうです。例えば1種は、今の放射線技師の領域、2種はエックス線だけというような。結局技師会の運動等で昭和59年に一本化をしましたが、もしそのときに1種、2種と固定されいたら、いわゆるエックス線しか使えない技師さんが今でも養成されることになっていました。先ほど中澤会長がおっしゃった、四年制教育にプラス2年というのは、現在の診療放射線技師にプラスアルファした資格になります。1種、2種とで2種類の資格を取るのとは意味合いが全然違っていて、要するに上にプラス。ここまでしかできないという枠組みをつくるのとは意味が異なります。私は、それは是非進めるべきだと考えています。

7. 畠元議員の活動を支えるために

篠原会長：そういったことは、もちろんこれから職能団体として、政策、そして行政や立法府も含めて活動しないと実現できることもあります。畠元議員だけではなく、医療関係の議員さんたちも含めた全体的な活動が必要です。特に診療放射線技師の代表である畠元議員の活動を支えるためには具体的にどんなことができるのか、あるいはどんなことをしなければいけないのか。本日は、日本診療放射線技師連盟の中澤理事長もいらっしゃいますし、議員であり日

本診療放射線技師連盟の副理事長でもあります畠元議員ご自身もいらっしゃいますので、畠元議員の政治活動を支えるために、われわれはどんなことを考えていかなければいけないのか何かご意見を頂ければと思います。

中澤会長：まず昨年、畠元将吾さんが衆議院議員になられたということで、大変歴史的な大きな出来事だということをお話しました。ですが、47都道府県の診療放射線技師で、畠元さんに会ったこともない方がまだたくさんいます。むしろ会っている方のほうが圧倒的に少なく、畠元さんにはぜひ47都道府県の技師会を訪問していただき、これから医療政策、実現すべき政策を訴えていただいて、畠元さんを支える会員一人一人の手を握っていただきたいなというのがまず1つです。

2つ目は、組織の中核として日本診療放射線技師連盟があります。篠原会長も畠元議員も連盟の副理事長ですので、執行部がしっかりと畠元議員を支えていくこと。そのためには政策をより明確にして打ち立てるということと、やはり連盟の会員数を増やしていくことが必要かと思っています。

今、連盟の会員数が約千人弱ですので、目標としては、まず3千人、そしてその次は1万人を目指して進めていきたいと思います。何よりも畠元さんには全国の会員3万人の手を握ってほしいと思います。われわれはそれを支えるため、畠元さんが動きやすくなるようにするため、会員数を増やしていく。そうした中で政策を明確にして取り組んでいきたいと思っています。

篠原会長：ありがとうございます。

畠元議員：私が衆議院議員になったのは、単に「議



員になりたかった」というわけではなく、「方策を変えたい」という思いがあったからです。私も現場にいましたので、現場環境を変えたいという思いから始まっています。その思いは今も変わっていません。そしてその目的のために、先ほど中澤会長がおっしゃったように、全会員、それに会員ではない技師の先生にもお会いしたいと思っています。それには理由があります。衆議院の仕事は、いろいろな意見が出て、それを聞いて、形にすることです。衆議院が法律を勝手に決めるものではないわけです。ということは、会員の皆さんに会って話を聞かなければ、仕事ができなくなってしまいます。

昨年度は臨時国会がありました。臨時国会がない土・日は全て各都道府県に行こうと考えています。今年も1月から本国会が始まりますが、本国会中も土・日に関しては動こうという気持ちでいます。ぜひその際には一人でも多くの診療放射線技師の先生方に会ってご意見を聞きたいと思っています。

声に出さないと、現場ごとにある問題点が明らかにならないことがあります。最近感じていたのが、地方によっても望むことが違うということ。それをきちんとリストにまとめて、優先順位を付けて形にしていく。もちろん中澤会長と相談しながらですが、それが一番大事なことかと思っていますので、一人でも多くの意見を聞きたい。そのためにはぜひ今年はもっといろんな場所に伺いたいと思います。

代議士になったからといって、法律はすぐには変えられません。昨年10月頃に話した内容は、本年度の臨時国会に提出できればいいなと考えています。間に合わなければ今年の秋の臨





時国会に提出する予定です。つまり私が議員になってから集めた要望が国会で議論されるのは、早くて今年の秋に始まればいいほうです。ということは継続しないといけない。

ですから当然ですが、2期、3期と継続していき、3期程やって初めて1つ形になるかなと思っています。衆議院はいつ選挙があってもおかしくない状況ですので、そちらも併せて頑張りたい。診療放射線技師の先生方には、連盟の会員になっていただくこともそうなのですが、ぜひ私、畠元将吾の党員にもなって、一緒になって戦ってほしいという気持ちです。

私は診療放射線技師会がバックにいることで、ありがたいことに、他の比例の先生方と比べると恵まれています。それが分かるのは、いろいろな先生が「畠元さんを応援するよ。そのかわり少しほれ地元のところを助けて」という話をされること。それはお互いさまなのでいいと思っていますが、それでもやはり診療放射線技師会、または個々の診療放射線技師の先生方、それから先ほどの21世紀の医療・介護・福祉を支える会に関係される歯科技工士の方々、救命救急の方々、臨床工学技士の方々の応援を頂いて形にしていかないといけないと思っておりますので、ぜひとも、まずはお会いしていくこと。行って「会いたくない」と言われるところですが、われわれは医療スタッフの現場の問題を解決させるためにいる人間なのだと思っていただき、その意味でお会いしていくみたい、そしてご意見を頂きたいと思います。そのご意見を持ち帰らせていただくことが一番で

す。これはぜひ進めさせていただきたいと思います。

2つ目は、技師連盟に少しでも入ってもらい、診療放射線技師会にいろいろな職能団体に対抗するような力を持ってもらいたいと思います。与党に対してもそうなのですが、それが2つ目です。

3つ目は、畠元将吾を信頼して党員になっていただきたいと思っています。それによって私は皆さま方とお約束をしないといけません。環境の問題を解決する、または教育の問題、業務拡大の問題、他にもあるかもしれません。そういう問題を、現場や患者さんを重視して、解決のために動いていきたいということを強く、熱く語っていきます。よろしくお願いします。

中澤会長：よろしくお願いします。

ここ最近の衆議院議員の任期を少し計算してみました。そうすると、おおむね衆議院の解散は2.6年に1度行われています。今年のオリ・パラが終わった後ぐらいがおそらく第49回衆議院選挙になるのではないかと思いますので、ここが大きな勝負だなと思っています。そこで畠元さんが再び議員になれれば本物だなという気がしています。そのために、われわれ日本診療放射線技師連盟の全国の会員は、必死になって畠元さんを支えます。そういう意味では、先ほどご本人も言っておられましたけれども、畠元議員の下で自民党の党員になっていただき、彼を支えていくということが大事だと思っています。

畠元議員は今、自民党の衆議院議員でもあり

ますし、派閥的には岸田文雄先生、宏池会に入っていますので、そちらのほうとの連携もあります。われわれは中央においても、また広島においても畠元議員を支えなければいけませんので、東京都診療放射線技師会の会誌をご覧になっている方々におかれましては、ぜひ畠元議員のところの自民党の党员になっていただきたい。募集人数は千人以上ですので、ぜひご協力いただきたいと思います。

篠原会長：畠元議員は全国一の会員数を抱える地方組織としての東京都診療放射線技師会の会員でもありますので、東京を中心となって全国に広めることはもちろん、私は日本診療放射線技師連盟の副理事長でもありますので、東京だけではなく全国にもこの活動を広めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

8. その他（個人的な抱負など）

篠原会長：最後に、今までの技師会の活動だけに限らず、個人的なことも含めて構いませんので、新しい年を迎えての抱負などをお話を頂いて、この座談会を閉めたいと思います。

まず私のほうから。すみません、大変個人的なことですが、昨年還暦を迎えました。暦は一巡りしたということで、まあ、初心に立ち返つていろいろなことを、取り組むというよりも整理して、振り返って、次の世代にしっかりと継承していきたいと思います。

先ほどもお話ししましたが、今年は昭和25年に設立された東京都診療放射線技師会の70周年です。諸先輩方の努力によって立ち上がり、そして継承してきたこの組織が70周年を迎えるという大きな節目を、まずは皆さんとともに祝いしたいと思います。そして、来年には第37回日本診療放射線技師学術大会および第23回AACRTという大きな学術大会が東京で開催されます。この2年にわたる大きな事業を実施するに当たって、次の世代をしっかりと育て、その上でわれわれの力を次世代に伝えていくことが私の役割だと思っています。それをこの2年間で具現化しようと思っています。ぜひ

皆さんの一層のご指導を頂きながら、新しい世代に向けた組織継承をしていきたいと考えています。

中澤会長：日本診療放射線技師会として過去を振り返りますと、6年前に私が会を預かってから、たくさんの幽霊会員を整理し、会員数が約2万7千人になりました。そこを原点として、会員の入会促進を継続し続け、毎年300人程度増加し、ここへ来て2019年（令和元年）は900人ぐらい増えています。さらに普及して、毎年千人ぐらい増えるような組織に変えていきたいと思います。毎年増えてきて、6年かかってここにたどり着きましたので、会員のために日本診療放射線技師会ができるることは全て行う、そして会員の皆さんにおかれましても、日本診療放射線技師会と連携しながら皆さんがやりたいことをぜひやっていただきたいと思っています。医療放射線の安全管理を診療放射線技師ができるようになったせっかくのチャンスでもありますので、その面でも会員の皆さんにはご活躍をしていただきたい、そして国民から信頼される技師になっていただきたい、そのように思っています。

2つ目に、執行体制の大きな目標としては、実は2年前の総会で「今後10年計画」ということでずっと検討してきた内容ではありますけれども、47都道府県の技師会の会長には10年計画で修士の課程を卒業していただきたい。トップが上に極めていくと、下の裾野が引き上げられるという効果もありますので、ぜひ修士を取っていただきたい。理事になっておられる22名の技師におかれましても、そのようなことをお願いしています。執行体制を預かる47都道府県トップの皆さん方は、連携して修士以上を取りましょうということです。

3つ目の目標は、できるだけ技師会活動を楽しみたい、そして皆さんとの人間関係をさらに深めて、大きな出会いをつくって、豊かな社会、人生100年時代に対応できる人間づくりを進めていきたいと思います。先ほど、畠元代議士からも人生100年時代に向けた厚生労働省の委員会の報告がありました。やはりそのためには人間関係づくり、人との出会いを大事にして、人生を楽しむ、健康を楽しむということを3つ

の目標にして今年は進めたいと思っています。

篠原会長：ありがとうございます。

畠元議員：私からまず1つ目は、日本診療放射線技師連盟の副理事長もさせてもらっているので、私自身もまだ勉強させてもらっている身ですが、国政との本当の関係、物事を決めるときの国政の内容、その辺りが分かりやすくなるような資料を本年度中に連盟の中澤会長に作成して何か提出したいと考えています。少しでも興味を持つてもらえるように。

2つ目は、せっかく皆さま方、診療放射線技師の先生方の支援を受けて議員になったわけですから、「畠元が国政に行って良かった」「まだ少ししか変わっていないけれども、変わる兆候が見えてきた、光が見えてきた」と思っていただけるような行動はしたいと思います。先ほど言ったように、今年は全国を回ることを目標に

していますが、回っていない県がないようにしていきたいですし、またいろいろな私の報告なども、技師会雑誌、またはホームページを通して発信していきたいと思っています。

そして、最後に思うのは、昨年度から中澤会長にも協力していただき努力していますが、できれば本年度の臨時国会で1つぐらい何かを上げていきたい。そのためいろいろ準備をしなければならないので動いています。それが今の私の目標です。どうか皆さん、支えてください。頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

篠原会長：よろしくお願ひします。

本日は大変お忙しい中、お時間を頂き座談会を開催させていただきましてありがとうございます。

今年もどうぞよろしくお願ひします。
一同：今年もどうぞよろしくお願ひします。ありがとうございました。



本座談会開催場所、公益社団法人日本診療放射線技師会にて

応用技術の概念『胃整形』の提案 第二部

公益財団法人 神奈川県結核予防会 中村 真

今回、検診における胃X線造影検査技術の基礎から応用について数回にわたって解説していく。また、応用技術の概念でもある『胃整形』について私の考えを述べたい。

第2回は標的部位を中心に検診における撮影法を解説する。

1 基準撮影法

基準撮影法とは、NPO法人消化器がん検診精度管理評価機構が提唱している撮影法である。コンセプトは、手技が簡便なこと、診断に必要な最低限の画像が備わっていること、画像の精度管理の基盤となり得ること、一定の成果が期待できることである。

基準撮影法には、対策型検診を想定した胃部二重造影八体位の基準撮影法1と任意型検診を想定した胃部二重造影十体位に食道と圧迫撮影を加えた基準撮影法2の二種類がある。共にポジショニングは体位（体の向き）で表現表記される。また胃下部の後壁から前壁、胃上部へと撮影する流れで体位変換を行う。

基準撮影法における各体位と標的部位また体位変換について解説する。

2 体位と標的部位

基準撮影法では体位をとることにより標的部位が描出する。

基準撮影法1における体位と標的部位を掲載する。

①背臥位二重造影正面位 『体部から幽門部の後壁』

- ②背臥位二重造影第1斜位 『体部（大弯寄り）から幽門部（小弯寄り）の後壁』
- ③背臥位二重造影第2斜位 『体部（小弯寄り）から幽門部（大弯寄り）の後壁』
- ④腹臥位二重造影正面位（下部前壁 頭低位）『体中部から幽門部前壁』
- ⑤腹臥位二重造影第1斜位（上部前壁）『噴門部小弯から胃上部前壁』
- ⑥右側臥位二重造影（胃上部）『噴門部小弯を中心とする前後壁』
- ⑦背臥位二重造影第2斜位（ふりわけ）『体上部を中心とする小弯寄り後壁』
- ⑧立位二重造影第1斜位 『胃上部大弯を中心とする前後壁』

①②③に関して、①の正面位に対して②③はそれぞれ第1斜位第2斜位にしたものである。②③の標的部位は体部および幽門部の大弯小弯寄りであり①の後壁に対して側面にあたる。よって斜位にすることによって胃の側面を観察していることになる（図1）。

④に関して、①の背臥位に対して④は腹臥位である。また①の標的部位（後壁）に対して④の標的部位は前壁であり、①に対して体位、標的部位共に表裏の関係になっている（図2）。

⑤⑥⑦⑧に関して、胃上部を前壁、小弯側、後壁、大弯側の順に4方向から観察していることになる（図3）。

3 体位変換と造影効果

基準撮影法では規定された体位変換を行うことにより造影効果が高まる。

基準撮影法1における各体位前の体位変換を掲

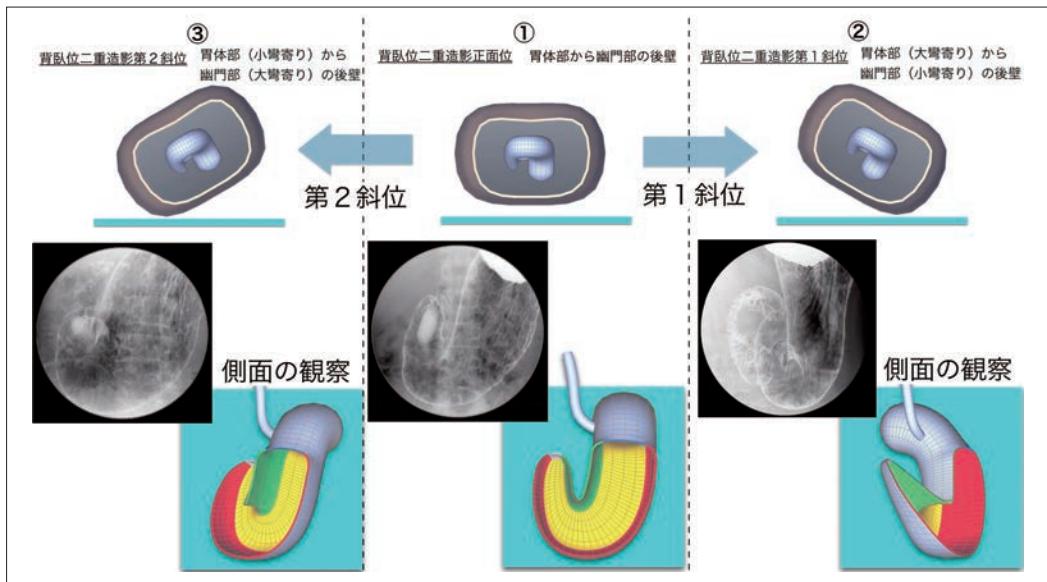


図1

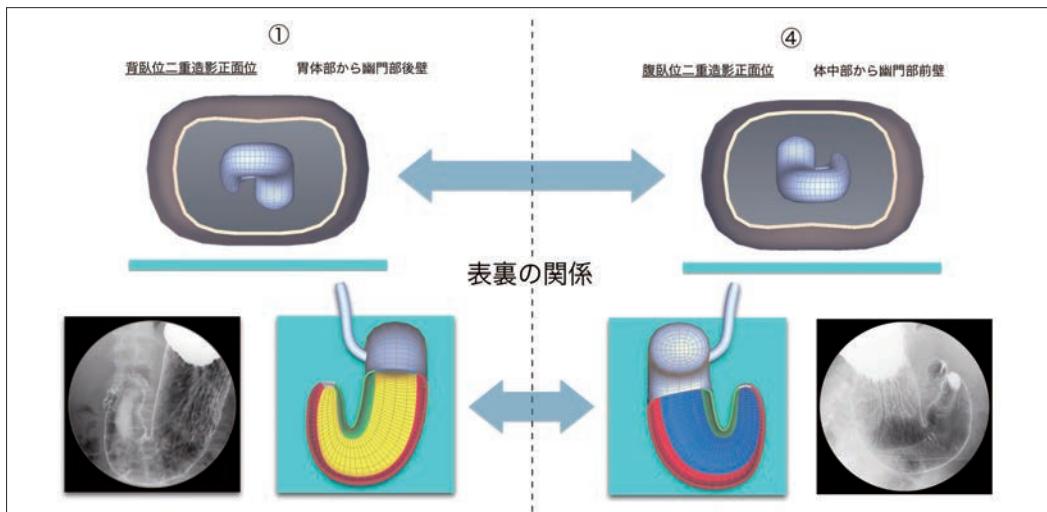


図2

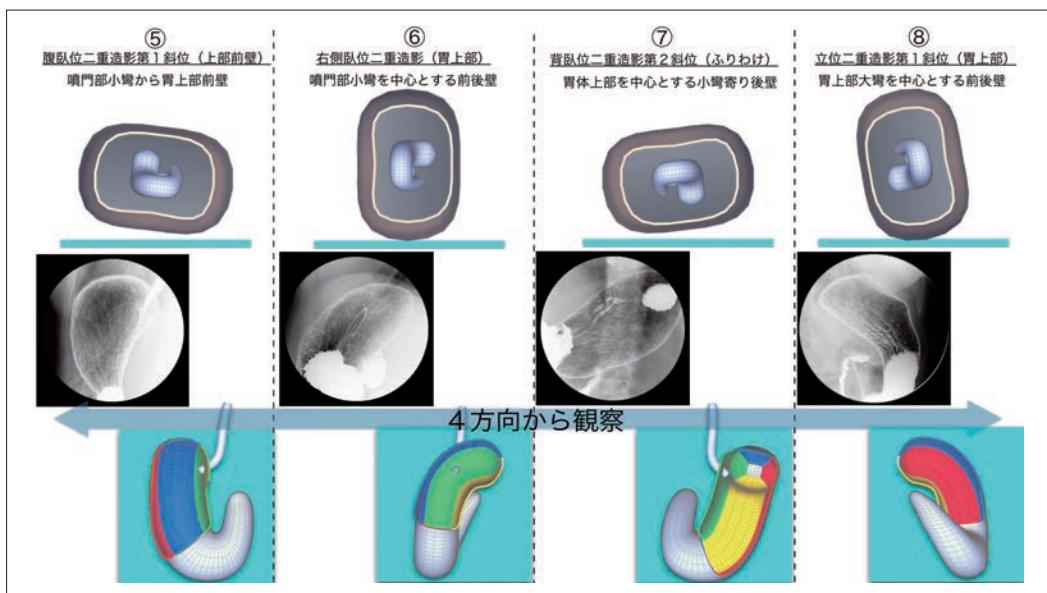


図3

載する。

- ① 水平面で背臥位から右側臥位方向へ3回転後正面
- ② 水平面で背臥位から右側臓位方向へ1回転後第1斜位
- ③ 水平面で背臓位から右側臓位方向へ1回転後頭低位から第2斜位
- ④ 水平面で背臓位から右側臓位方向へ半回転後半立位から頭低位
- ⑤ 水平面で腹臓位から左側臓位方向へ1回転後第1斜位にして半臓位
- ⑥ 水平面で腹臓位から左側臓位方向へ半回転後右側臓位
- ⑦ 水平面で右側臓位から背臓位後第2斜位

- ⑧ 水平面で背臓位から左側臓位後立位から第1斜位

①②③に関して、ローリングによりバリウムを流す。

④に関して、半立位から頭低位にかけて寝台を倒しバリウムを流す（図4）。

⑤に関して、ローリングでバリウムを流した後、第1斜位にして寝台を起こしバリウムを流す。

⑥に関して、背臓位から右側臓位に体の向きを変えてバリウムを流す。

⑦に関して、右側臓位から背臓位に体の向きを変えてバリウムを流す。

⑧に関して、左側臓位にして寝台を起こしバリウムを流す（図5）。

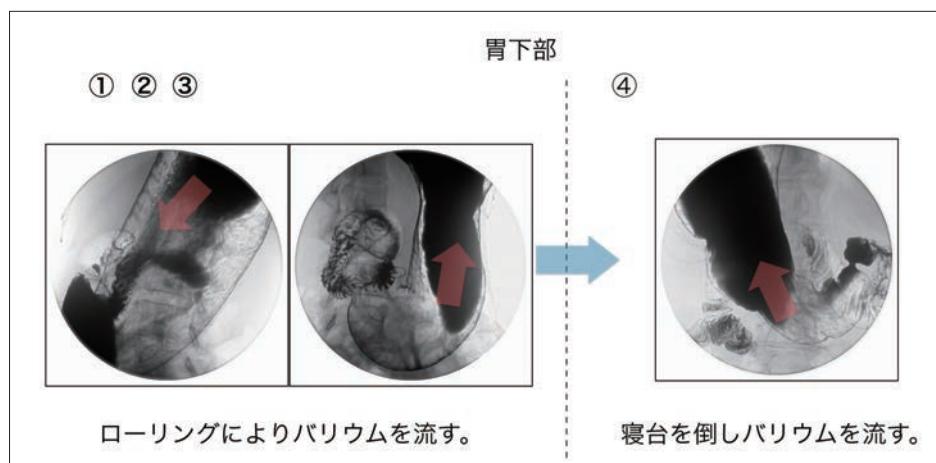


図4

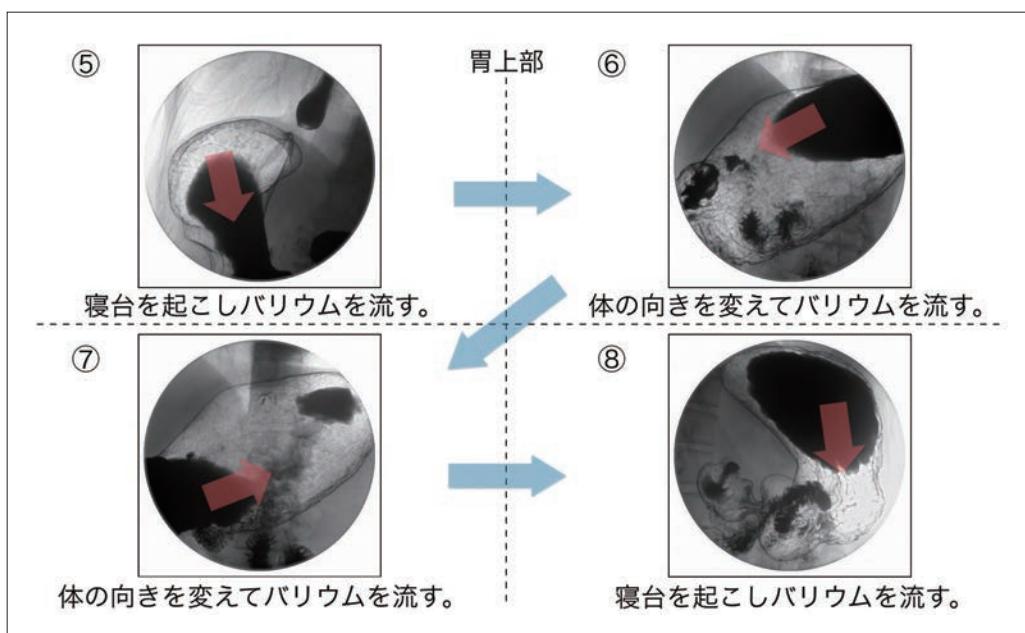


図5

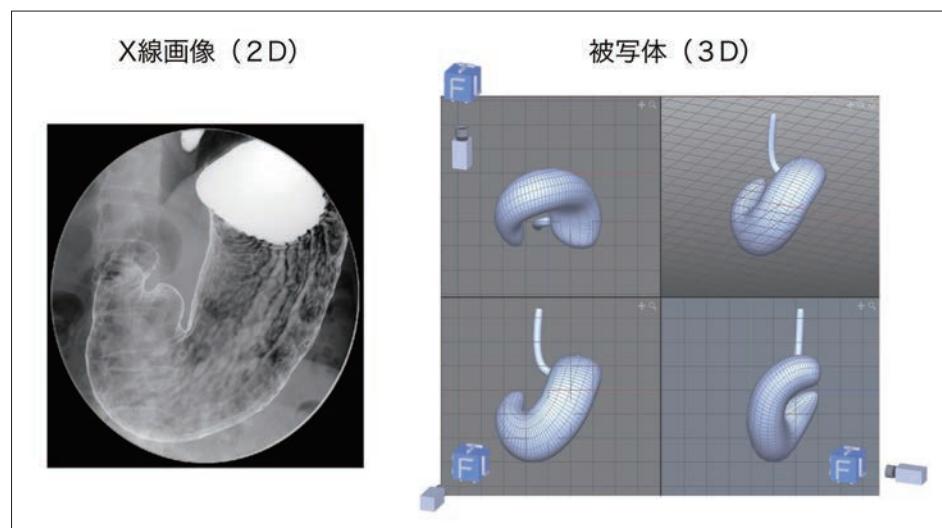


図6

基本的に各体位前にバリウムを標的部位に流した後にポジショニングを行う。

4 基準撮影法の特徴

基準撮影法の特徴として、ポジショニング（標的部位を描出する行為）が体位（体の向き）による表現になっている。これは体位をとることによって一般的な胃の場合、標的部位と撮像面の関係がポジショニングに適した状態になる。すなわち標的部位を正面で描出できるということである。また、体位変換も規定されている。これは規定された体位変換を行うことで、一般的な胃は胃全体にバリウムを流し造影効果を高めることができることである。このような手技は基準撮影法のコンセプトを反映している。要するにより

簡便な手技で一定の成果が得られるようにマニュアル化されているのである。

しかし、基準撮影法は一般的な胃を想定して作成されており、全ての胃においてマニュアル通りに手技を行えば一定の成果が得られるかといえばそうとは言えない。現実的には、さまざまな問題により撮影困難なケースがある。その一つとして『胃形』が挙げられる。

胃形とは、X線像として現れる胃の形の名称である。胃形による撮影の問題点は、胃の立体的特徴をイメージすると理解しやすい。しかしX線画像は立体(3D)の投影像(2D)であり、X線像からは立体的特徴をイメージするのは難しく、問題点を認識しづらい(図6)。

次回は被写体を立体的に捉え胃形による撮影の問題点について解説する。

第2地区研修会に参加して

浅草病院 島田 諭

Dual Energy CT（以下DECT）は物質弁別画像、仮想単色X線画像を得られることが大きな特徴であるといえる。救急においてCTでのよくある失敗として金属アーチファクト、造影不良などが挙げられるがGemstone Spectral Imagingによりこれらの影響を少なくすることができる。これによりバックボードや固定具をつけたまま撮影をしても、ある程度の金属には対応できるとのことである。造影に関しても低KeV画像により造影不良をカバーできている。PEに関しては有用であるとのこと。だからといって全検査にDual Energyを使用することはできない。データ容量の問題や体格によって線量不足による画質の低下は否めないとのことである。しかし、私は「DECTってすぐえなあ。」と改めて思った。

被ばく線量ソフトの導入経験では、やっぱり大変であるということ。特にプロトコルの統一ということであろう。私もこのテーマでいろいろなところで講義を拝聴したが、もはや「あるあるネタ」くらい皆、口をそろえて言っていた。やはり細かいル

ル作り、共通認識としての周知活動が重要であるということ。コストと労力がかかるので余裕を持った準備が必要であるということである。

救急のことに関連して脳卒中Aの対応と取り組みを病院全体で行っている。院内多職種が参加し、実症例を振り返ってシミュレーションしたり、スタッフのスキル向上を図ったり検証を重ねるなどの準備をしているとのこと。結果として患者さんが来院してから撮影、穿刺までの時間が大幅に短縮できたということである。

今回の講義を拝聴して「準備すること」の大切さを再認識した。ラグビーワールドカップでは、日本代表が大躍進をした。そこで監督・選手たちはOne Teamになり、皆、勝つために準備していると言っていた。それに近いものがあると思った。

今回、講師を引き受けてくださった須山様ありがとうございました。懇親会では楽しい時間を過ごさせていただきました。また機会がありましたらよろしくお願い致します。



超音波画像研究会

第260回定例会

日 時：2020年1月22日（水）19時00分（受付開始18時30分～）
会 場：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

テー マ：肝の線維化と硬さ～シェアウェーブとフィブロスキャン～

講 師：日本大学医学部消化器肝臓内科 松本直樹 先生

参 加 費：会員500円／準会員・非会員1,000円／新入会3,000円（入会金含む）／学生無料
※事前の申し込み、登録は不要です。直接、会場までお越しください。

近年、肝臓の線維化の定量化に超音波画像検査の応用が進み、さまざまな手法で定量化された値を用いて画像診断に利用しています。今回は肝臓の線維化と硬さについて、肝臓をはじめ消化器領域の超音波でご活躍される松本先生をお招きしてご講演頂きます。

第28回腹部エコー初心者講習会

超音波検査を始めよう、または始めて間もない医師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師の方を対象とした講習会で、講義と実技の二本立てで、二日間の日程で開催致します。

初日は超音波画像の成り立ちや画像調整などの基礎、各臓器のメルクマールとなる超音波解剖を分かりやすく解説致します。二日目は初日の講義を基に、装置1台につき5名前後で実習を行い、実際に走査をしながら基本断面の描出を目指していきます。

日 時：2020年1月11日（土）15時00分～18時30分
1月12日（日） 9時00分～16時00分
会 場：東洋公衆衛生学院（東京都渋谷区本町6-21-7）
定 員：25名（定員となり次第受付を終了致します。また、最低開催人数に達しない場合は費用返却の上、中止する場合もあります）
参 加 費：会員23,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済みである会員）
準会員・非会員28,000円（入会金、昼食含む）
(会費は事前に銀行振り込みとなります)
申し込み方法：Fax・E-mail・郵送にて
(申し込みに関する詳細は超音波画像研究会ホームページをご覧ください)

超音波画像研究会

第16回ワンバイツー講習会（腹部エコー実技講習会）

腹部エコー初心者講習会の受講者や初心者から一歩進んだ方を対象とした講習会で、装置1台に受講者2名のスキャン技術を徹底してレベルアップするためのハンズオンセミナーです。

日 時：2020年3月1日（日）8時45分～17時00分

会 場：東洋公衆衛生学院（東京都渋谷区本町6-21-7）

定 員：12名（定員となり次第受付を終了致します。また、極少数である場合は費用返却の上、中止する場合もあります）

参 加 費：会員 23,000円（昼食含む、会員とは入会金支払い済みである会員）

準会員・非会員 28,000円（入会金、昼食含む）

（会費は事前に銀行振り込みとなります）

申し込み方法：Fax・E-mail・郵送にて

（申し込みに関する詳細は超音波画像研究会ホームページをご覧ください）

超音波画像研究会ホームページ：

<http://us-image.kenkyuukai.jp/information/>

お問い合わせ先：超音波画像研究会（群馬県高崎市問屋町3-3-4）

E-mail：us.image.workshop@gmail.com

TEL：027-388-8627（10時00分～17時00分まで）

会員動向

令和元年度4月～11月期

年月	月末会員数	新入	転入	転出	退会
平成30年度末集計	2,235	198	33	25	134
平成31年 4月	2,246	14	2	2	3
令和元年 5月	2,270	27	1	3	1
令和元年 6月	2,293	24	0	1	0
令和元年 7月	2,325	28	4	0	0
令和元年 8月	2,338	16	0	2	1
令和元年 9月	2,360	20	6	1	3
令和元年10月	2,374	16	2	0	4
令和元年11月	2,385	13	1	2	1

東 放 見 聞 錄

親愛なる科長へ

1～2年に一度、四国に行き四国88ヶ所霊場を歩き遍路で巡っている。そして去年86番のお寺まで打つことができたので、あとは2つのお寺を残すのみとなった。2つのお寺を残したのには理由があり、88番の最後のお寺を打ち終えた後、さらに歩き続け1番のお寺に行きたいからだ。それにより四国に約1,200キロの円を描いて歩いたこととなる。しかし、この方法に異論を唱える人もいる。1番から始める人がほとんどで88番からまた1番にいくと、他のお寺は1度なのに一番札所だけが2度お参りすることになり、これは一番札所の陰謀だというのだ！ 88ヶ所も通りそんな世俗的なことを言うとはまだまだ修行が足りません。もう一度88ヶ所巡って修行し直した方がいいねと私は言いたい。

ちなみに二巡目を巡った時の御朱印はどうなるかというと、初めの参拝は、墨書きと朱印だが二巡目以降は、朱印のみを重ねていく重ね印というやつです。なので何度も巡礼している人の納経帳（御朱印帳）は真っ赤になっていくそうです。ちなみに朱印だけなのですが値段は変わりません。朱印だけなのに？ なぜ？ 私もまだ世俗的な考えを捨ててきていらないな… 二巡目した方がいいのかもしれません。このように難癖つけて四国のお遍路さんをやめられなくなる人を「お四国病」と言います。私もお四国病になっている可能性があります。なので科長！ 休みをください！ この場を借りて休みを欲しがる位重篤なお四国病にかかりています。

ビションフリーゼ愛好家

News

1月号

日 時：2019年11月7日（木）
午後6時45分～午後7時15分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、江田哲男、
市川重司、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
浅沼雅康、長谷川雅一、平瀬繁男、工藤年男、
高橋克行、市川篤志、鮎川幸司、原子 満、
宮谷勝巳、渡辺靖志、安宅里美
出席監事：葛西一隆、野田扇三郎
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、関谷 薫（第2地区委員長）、目黒一浩（第4地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、三富 明（第8地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小野賢太（第12地区委員長代理）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）
欠席理事：高野修彰
議 長：篠原健一（会長）
司 会：白木 尚（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：1名

会長挨拶

11月になり全国学術大会 + AACRT（アジア・オーストラレーシア放射線技師学術交流大会）まであと2年となりました。近いうちにキックオフミーティングを開く準備をしているので、ご協力をお願いしたい。来年度に向けての事業計画の作成と来月の役員研修会の参加をお願いしたい。秋の広報活動、地域のイベントが続き、各地域、地区の皆さまのご協力に感謝申し上げたい。

報告事項

1) 会長

・10月5日に日本診療放射線技師会の理事会に参加した。中澤会長からの3つの話を紹介する。

①10月3日厚生労働省に日本診療放射線技師会として保守点検が必要と考えられる医療機器の適応拡大に関する要望書を提出した。

②タスク・シフティングのヒアリングがあり、7月17日に日本診療放射線技師会としてのアンケートの結果、チーム医療推進会議のまとめなどを厚労省に説

明をした。

③医療放射線安全管理責任者養成講習会の開催を今年度中に企画しているので、応募してほしい。

他に日本診療放射線技師会からのお知らせで、統一講習会の修了書が以前の医政局長名のままで差し変わっていない方は、その連絡に対して早く返信するよう伝えくださいとあった。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) 中間監査報告

・葛西一隆監事より中間監査報告が行われた。

8) その他

・今回は特になかった。

議 事

1) 事業申請について

①第35回東村山市民健康のつどい

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

日 時：2019年11月9日（土）・10日（日）9時30分～
16時00分

場 所：東村山市役所 いきいきプラザ

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②第1地区研修会

テーマ：当施設における肺がんCT検診と技師の役割

日 時：2020年2月3日（月）19時00分～21時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

③第3地区研修会

テーマ：診療放射線に係る安全管理体制に関する線量管理について

日 時：2020年2月7日（金）19時00分～20時30分

場 所：東京医科大学病院

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

④第8地区研修会

テーマ：重症頸髄損傷に対する自家骨髓間葉系幹細胞移植療法について

日 時：2020年2月21日（金）19時00分～20時30分

場 所：東邦大学医療センター大森病院

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑤第68回きめこまかな生涯教育

テーマ：CT基礎を理解する（初級者向け）…次のステップに行く前に…

日 時：2020年2月22日（土）14時30分～18時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑥第94回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：一般撮影条件（胸部／腹部編）

日 時：2020年2月26日（水）19時00分～20時30分

場 所：東京医科大学病院

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑦第22回メディカルマネジメント研修会

テーマ：風化させないために…「東放技災害記録」「東海村JCO臨界事故」「福島第一原子力発電所事故」

日 時：2020年3月4日（水）19時00分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑧多摩支部研修会

テーマ：一般撮影の画像処理について

日 時：2020年3月13日（金）19時00分～20時30分

場 所：国分寺労政会館 第4会議室（予定）

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) 2020年・21年度選挙管理委員について

鈴木総務委員長：先日、次年度からの選挙管理委員を各支部で選出していただいた。

城北支部 青木 淳 東京大学医学部附属病院

城西支部 吉澤 礁 日本大学医学部附属板橋病院

城東支部 島田 諭 浅草病院

城南支部 後藤 太作 JR東京総合病院

多摩支部 島田 勇佑 東大和病院

ご承認をお願いしたい。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

10月：新入会16名、転入2名、退会4名

上記について審議した。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

・特になし

連絡事項

1) 厚生調査委員会：江田委員長

今年度も調査を予定しており、今回からGoogleフォームを使用したいと考えている。はがきは各施設の所属長宛に送信する。はがきの裏面にQRコードとURLを記載する。既存の方法と比較して、調査シートの作成および返信費用の支出軽減、集計方法が簡易的であること、また回答者の負担軽減にもつながると考えられる。本年度のテーマは放射線業務における災害対策に関してである。はがきは11月下旬から12月上旬に発送する予定である。皆さまのご協力とご案内をお願いしたい。

2) SR推進委員会：渡辺委員長

台風関係の被災状況に関して、会員で本人が怪我をした、あるいは自宅が被害を受けた方は報告するようメールを送らせていただいた。現在まで被害があったとの報告は受けていない。本理事会付けて一旦締め切り、日本診療放射線技師会に報告する。追加で報告がある場合は隨時ご連絡をいただきたい。

3) 情報委員会：安宅委員長

ホームページリニューアルについての進捗状況について。制作会社に提出する仕様書(提案依頼書という)と、サイトマップ案を仕上げている段階である。次回理事会で資料として提出する予定。

4) 総務委員会：鈴木委員長

役員研修会に関して、台風の影響で皆さまへのご報告が遅くなつたが、例年通り対岳荘で行う予定である。箱根登山鉄道が完全に復旧しておらず、対岳荘で一時的にお湯が出なくなつたそうだが、現在は通常営業しているとのことである。ただ箱根登山鉄道が復旧していないので、バスは増発しているとのことであるが交通状況は不明である。今回は特に講師は招かず、2年後のAACRTの進捗状況などの報告に関する研修会としたい。開催時間は追って連絡するが、おそらく15時から16時くらいになるであろうと考えている。出欠のエクセルシートを送付するので、遅くとも11月の専門部までにはご連絡をいただきたいので、ご協力をお願いしたい。

5) 庶務委員会：野口委員長

補足として交通状況に関して、対岳荘に確認したところ、路線バスは通常運行と臨時便があり増発して運行しているとのことである。休日は混雑が予想されるが、対岳荘までの交通手段は確保されているのでご理解いただきたい。

6) 総務委員会：鈴木委員長

9月30日付までの各地区の会員数および代議員数に関する資料を添付させていただいた。これは代議員数や来年度4月の地区委員の新任などに関わってくるの

で、今回配布した資料をご確認していただき、資料で示した人数を超えないように調整していただきたい。代議員選挙に関しては来月の会誌に掲載される予定である。また、事業申請などのファイルから期日を和暦から西暦に変更し、フォーマットを一部変更した。12月の理事会以降は変更したフォーマットのファイルで提出をお願いしたい。さらに次年度の事業計画案に関して、順次提出をお願いしたい。本理事会後に、昨年提出していただいた事業計画案を送付する。可能であれば年内に提出していただけると幸いである。新規で事業を行うのであれば、東京都に申請が必要であるので、事前にご相談をお願いしたい。

7) 庶務委員会：野口委員長

篠原会長からもお話をあったが、医政局長の記名が誤りであった統一講習会の修了書に関して、該当者には個人宛ての郵送で新しい修了書と誤った修了書の返信用の封筒が送られている。しかし、未だ返信していない方が多々いらっしゃるようなので各地区委員会、職場などで広報いただきたい。

第8地区委員会：三富委員長からの質問

誤った修了書を破棄した場合はどうしたらよいか。

篠原会長の回答

確認が必要なため、野口庶務委員長にご連絡いただきたい。

8) 第13地区委員会：鮎川委員長

多摩放射線技師連合会総会が11月29日に行われる。来賓として篠原会長や、ラジエーションハウスの五月女康作先生に来ていただく予定である。本理事会後に資料を配布する。皆さまのご参加をお願いしたい。

今後の予定

11月26日を目処に役員研修会の出欠のご連絡をいただきたい。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2019年度

1. 学術研修会

第22回メディカルマネジメント研修会	令和2年3月4日(水)
☆第18回ウインターセミナー	令和2年2月1日(土)

2. 生涯教育

第68回きめこまかな生涯教育	令和2年2月22日(土)
----------------	--------------

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第91回日暮里塾ワンコインセミナー	令和2年1月23日(木)
第92回日暮里塾ワンコインセミナー	令和2年1月31日(金)
第93回日暮里塾ワンコインセミナー	令和2年2月15日(土)
第94回日暮里塾ワンコインセミナー	令和2年2月26日(水)

4. 集中講習会

第12回MRI集中講習会	令和2年1月26日(日)
--------------	--------------

☆5. 支部研修会

城南支部研修会	令和2年3月6日(金)
多摩支部研修会	令和2年3月13日(金)

6. 地区研修会

第1地区研修会	令和2年2月3日(月)
第3地区研修会	令和2年2月7日(金)
第5地区研修会	令和2年2月14日(金)
第8地区研修会	令和2年2月21日(金)
第12地区研修会	令和2年2月28日(金)
第6地区meeting	令和2年3月7日(土)
第11地区研修会	令和2年3月12日(木)

7. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会	令和2年1月24日(金)
SR推進委員会研修会	令和2年3月8日(日)

8. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動
日暮里駅前清掃活動
富津海岸清掃活動

関連団体

第3回 PACS Administrator Seminar	令和2年1月11日(土)～12日(日)
超音波画像研究会 第28回腹部エコー初心者講習会	令和2年1月11日(土)～12日(日)
2019年度第5回業務拡大に伴う統一講習会	令和2年1月18日(土)～19日(日)
超音波画像研究会 第260回定例会	令和2年1月22日(水)
2019年度第6回業務拡大に伴う統一講習会	令和2年2月29日(土)～3月1日(日)
超音波画像研究会 第16回ワンバイツー講習会(腹部エコー実技講習会)	令和2年3月1日(日)
2020年ソウル特別市放射線士会学術大会	令和2年3月20日(金)～22日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

皆さま、新年明けましておめでとうございます。昨年の日本は年号が令和に代わり、ラグビーワールドカップも自国で行われ、非常に盛り上がった内容の濃い一年だったのではないかと思うか。皆さまにとってはどうな一年だったでしょうか。今年はどこでも言われている令和最初のお正月から始まり、夏には東京でオリンピック・パラリンピックが開かれる昨年にも増してワクワクする一年になるかと思います。自分もそういった世間の盛り上がりに負けないくらい濃い一年にしたいと思っています。

ここまで読んでくださっている方ならもうお気づきかと思いますが、編集委員もこの新年号ブームに乗って、以前までのコラムを名前も新たに新コラムとして再開致しました。名前には、あのマルコ・ポーロがアジア諸国で見聞した内容口述を、ルスティケロ・ダ・ピサが採録編纂したと言われる旅行記

の『東方見聞録』からお借りしました。これからも『東方見聞録』のように会員の皆さまの見聞録をお届けしていくので、今年も東京放射線をよろしくお願い致します。

B.F.S



■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
(株)日立製作所

東京放射線 第67巻 第1号

令和元年12月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和2年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一